MAJ-233B
AW87
2004年10月1日発行

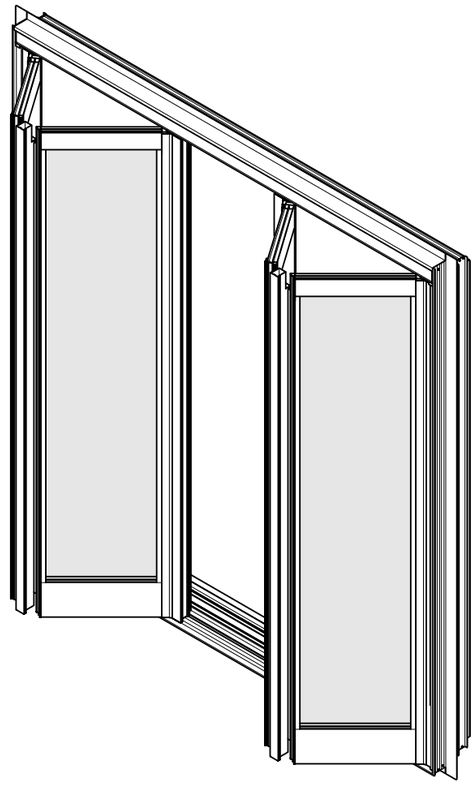
トステム株式会社
本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

お施主さま用

全開口サッシ

取扱い説明書



ご使用にあたって

●この取扱い説明書を読んで理解するまでは「全開口サッシ」のご使用及びお手入れを行わないでください。
●この取扱い説明書は、ご使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。

目　次

■重要なお知らせ……1
■警告用語の種類と意味……1
■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）……2
■操作方法……3・4
■お手入れ方法……5
■商品保証について……6

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のために、必ずお守りください。
「全開口サッシ」のご使用及びお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。もし、この取扱い説明書に従わず乱用又は誤用によって、ケガ及び損害が発生した場合は、トステム株式会社及びその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「全開口サッシ」のご使用及びお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先窓口
商品全般	お買い求めの工務店・販売店、又はトステム（株）営業所

警告用語の種類と意味

この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意　味
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障等につながる場合に用います。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にご相談ください。

■対象商品…… サッシ･ドア商品

■保証期間…… 施工者よりの引渡し日（注1･注2）から2年間（電装部品については1年間）
ただし、商品からの雨水浸入については10年間とします。
注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2）分譲住宅（建売住宅）･分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

■保証内容…… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項…… 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
④商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）、又はこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温･低温･多湿による不具合など）
⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）
⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。
＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にお問合わせください。

お手入れ方法

1 商品の点検

■アルミ部分

●定期点検（年一回程度）に、ねじ・ボルト類の緩みを点検し、締め直してください。
締め直してもガタつく場合は、腐食のおそれがありますので、お買い求めの工務店・販売店、又はトステム(株)営業所へご連絡ください。

2 商品のお手入れ

■アルミ部分

●アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、砂・ホコリ・塩分などが付いたまま長い間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受け、腐食の原因になります。お手入れはなるべくマメにしてください。

【汚れが軽い場合】

●水でぬらしたぞうきんで、汚れをふき取り、からぶきします。

【汚れがひどい場合】

①水でぬらしたぞうきんで、全体についたホコリ・砂などをふき取ります。
②うすめた中性洗剤で、ひどい汚れを落とし、洗剤が残らないようによくふき取ります。
③全体をからぶきします。

■お手入れ回数の最低限の目安

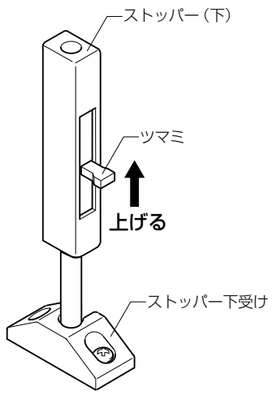
お住まいの立地条件	お手入れ回数
臨海工業地帯	1年に1～2回
海岸地帯・工業地帯	1年に1回
市街地	1年か2年に1回
田園地帯	2年に1回

■お手入れのご注意

●洗剤は必ず中性洗剤をご使用ください。酸性・アルカリ性・塩素系薬品はアルミ形材・ステンレス部品の腐食や、塗膜はがれを引き起こしますので、絶対に使用しないでください。
誤って使用した場合は、すぐに大量の水で薬品をよく洗い流してください。
ベンジン・シンナー・トルエンなどの有機溶剤及び、有機溶剤入り洗浄剤などをアクリル板やアルミの木目調部分に使用しないでください。
●金属製ブラシ・金ベラなどは、表面の塗膜をキズ付け、劣化を早めますので使用しないでください。

■下枠レールのお手入れ

●下枠のレール内の清掃を行う場合には、折戸吊元側にあるストッパー（下1個所にあります）のツマミを動かして固定を解除してください。
吊元側のレール部分の清掃が行えます。
※必ず清掃が終わりましたら折戸を全閉にして、施錠した状態にして、ストッパーの固定を行ってください。



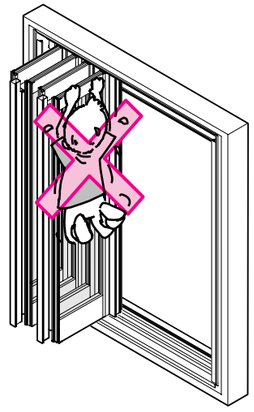
特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

⚠注　意

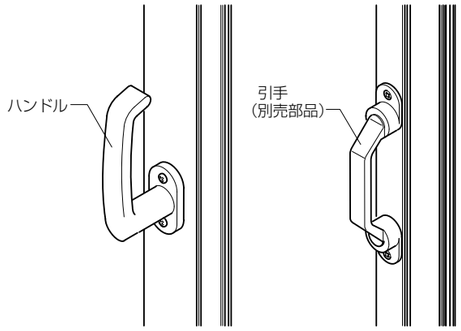
破損によりケガなどをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

製品破壊に関すること

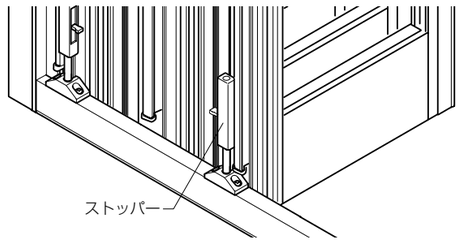
●障子本体には、絶対にぶら下がったりしないでください。



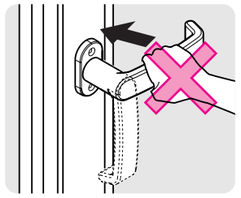
●障子のハンドル、引手に物を掛けたり、ぶら下がったりしないでください。

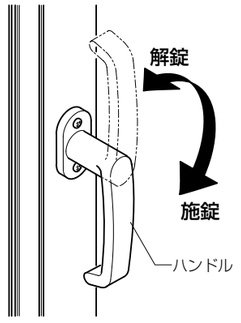


●障子を開けた状態では、必ず戸先側のストッパーで固定してください。
●障子ストッパーの固定を行なった場合でも、障子が動きますので、もたれ掛かったり、物を立て掛けたりしないでください。



●障子を閉めたときには、必ずハンドルで施錠してください。
●風の強い時は、必ず施錠をしてください。
●障子を開けるときには、ハンドルを180°回転させてから、障子を押出してください。

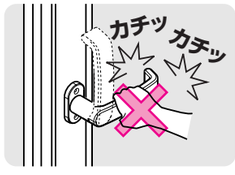




お願い

製品破壊に関すること

※ボルト・ナット・ねじなどは絶対に緩めないでください。
※障子を室内側へ引寄せていない状況で、無理に操作しないでください。施錠機構が変形し、開閉が重くなる場合があります。
※当社指定の付属品以外は取付けないでください。



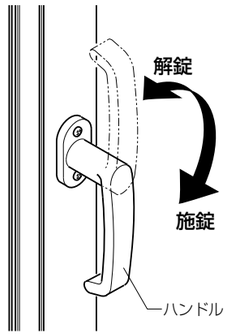
操作方法

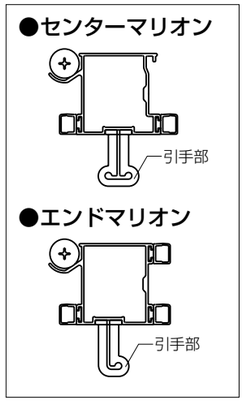
1 室内側から開ける場合

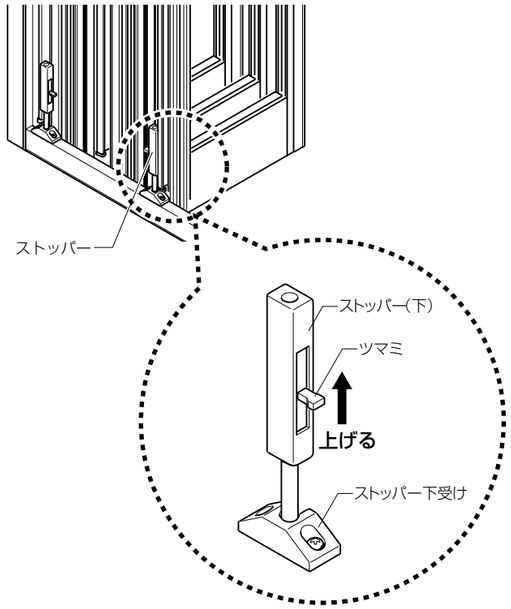
①室内側からの障子を開ける場合には、中央部のストッパーのツマミを上げてハンドルを反時計回りにまわし、解錠させます。ハンドルを20cmほど外へ押出してから引手部を持ってスライドさせ、全開にしてください。
②全開にしたらストッパーのツマミを下げて固定してください。

2 室内側から閉める場合

①ストッパーのツマミを、上げてから引手部を持って障子を閉めます。ハンドル強めにを引寄せた状態で時計回りに回して施錠してください。
②全てのハンドルを施錠してください。
③中央部のストッパーのツマミを下げて固定してください。

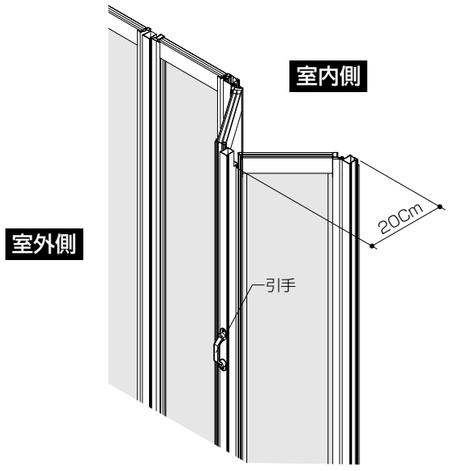






3 室外側から開ける場合

①引手(別売部品)を引いて障子を開けてください。ハンドルを20cmほど外に押出してから引手部を持ってスライドさせ、全開にしてください。

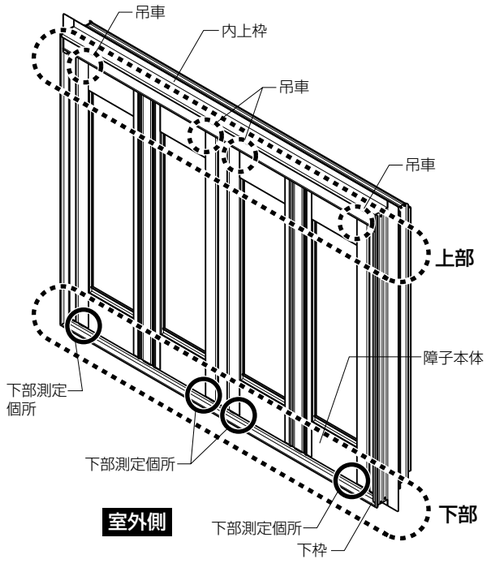


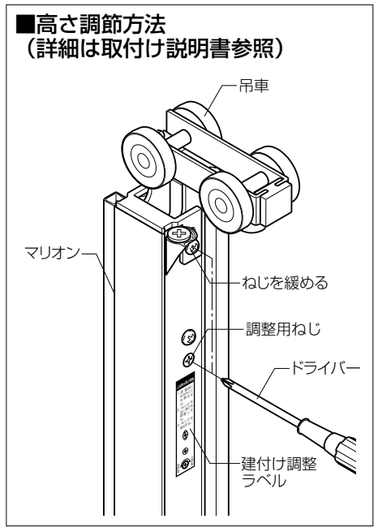
4 障子・高さ調整方法 (建付け調整用ラベルを参照してください。)

お願い

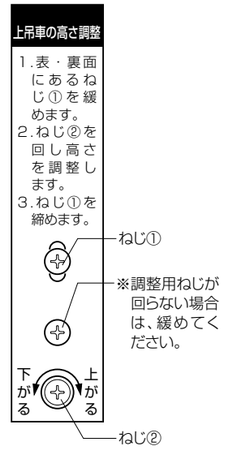
※下部のすき間が5mm以下の場合、障子の高さを上げ、下部のすき間を確保してください。障子と下枠がこすれ、異音が発生する原因になります。

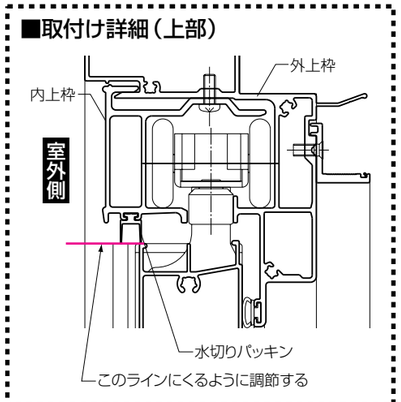
①はじめにマリオンを固定している長穴部分のねじ(両側2個所)を緩めます。
②調整用ねじを回して高さ調整を行ってください。調整用ねじが回らない場合はねじ①とねじ②の間のねじ(両側に2個所)も緩めます。
・上に上げる場合は、調整用ねじを右側(時計回り)に回します。
・下に下げる場合は、調整用ねじを左側(反時計回り)に回します。
③調整が終わりましたら、緩めたねじを締めて、固定してください。

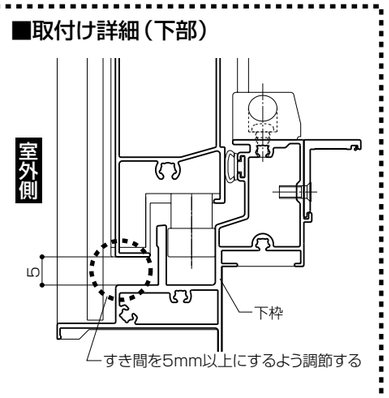




【建付け調整用ラベル】



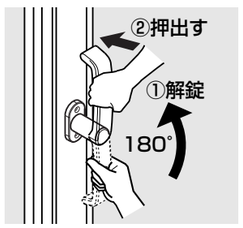




5 ハンドル操作方法

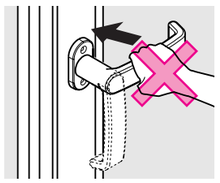
■解錠の仕方

①ハンドルを180度回転させます。
②障子を押出します。



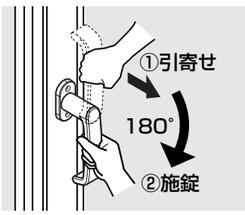
⚠ 注 意

●ハンドルを180度回転させないで押出すと、ガラス損傷、気密材が切れて、漏水のおそれがあります。



■施錠の仕方

①障子を室内側へ、強めに引寄せます。
②ハンドルを180度回転させます。



お願い

※障子を室内側へ引寄せていない状況で、無理に操作しないでください。施錠機構が変形し、開閉が重くなる場合があります。

